

2024年3月24日 主の受難週です

今週は主の受難週です。十字架への道を歩かれた主は「私たちの弱さ、試み、危機に同情できない方ではありません」（ヘブル 4:15）。しかし、今日も律法主義者たちは一つの答えしかもっていません。

ヨブの友人たちがそうであったように「私の見るところでは、不幸を耕し、害毒を蒔く者が、それを刈り取るのだ」ヨブ 4:1～21(エリファズ)とヨブを断罪しました。「私の見るところでは」と自分を義としています。ヨブ 42:7～8

ヨブの友人たちは律法主義者です。「きちんとした信仰を持っていれば、試みにあうことはない。たとえ試みを受けても神は守って下さる。」と言います。「ヨブ,おまえには隠れた罪があった。だからこのような苦難があるのだ。」と言います。

私たちもまた「信仰をきちんと」を要求しがちではないかと心を探られます。教会の友が、試みや弱さや病を嘆いていると「私の見るところ、信仰がきちんとしていれば、そんなふうにはならなかったのに」と言わないでしょうか。人はだれもが、暗闇の中を悲しみつつ生きて「義人はいない。ひとりもない。」(ロマ 3:9～18)のです。

神は、私たちがきちんとしているから受け入れて下さったのではありません。かえって、地獄で永遠に苦しむはずの私たち(罪人)を「イエス様の義によって」を受け入れて下さいました。「主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられたからです。」ロマ 4:25

今週は主の受難週です。イエス様のエルサレム入城でのホザナの賛歌、主の弟子たちや人々の裏切り、拷問、十字架の苦しみ、死、埋葬という出来事を静かに思い起こしてみましょう。私は受難週を前にして詩篇 131 篇を黙想しつつ繰り返し読んでみました。

「まことに私は、私のたましいを和らげ、静めました。イスラエルよ。今よりとこしえまで主を待て。」

● 単に「優しい神が私を愛して下さった」ではありません。神の正しい裁きと罪への怒りを、神の御子.イエス様がご自身の死によって「なだめ」て下さいました。「御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」

1 ヨハネ 1:5～2:6

- 今日礼拝が会堂とオンラインで家庭と結ばれていることは感謝です。健康のすぐれない兄姉、痛みの中にある兄姉に主の良きお支えがありますように。
- 先礼拝は谷口執事が担当されました。メッセージを感謝します。来聖日(3/31)のイースター礼拝は高木兄が担当されますから祝福となりますように。
- 今日、3月度総会の文書が渡されます。4月総会(4/14)で、3月総会で取り上げる議題の質疑や検討ができます。
- 来聖日の日曜学校イースター集会(10:00)案内が印刷されています。ご家族や友人にご案内下さい。
- 先聖日午後(3/17)、みことば・義岩兄。語り合い司会・晋一兄による三月の班別集会でした。大掃除を4/28(日)の午後行います。高木兄による議事メモが掲示。
- 先聖日(3/17)の夕、教会(会堂)で町内会があり、高木兄が対応下さいました。毎回の接待を感謝します。
- 先週は風の強い日が多く、植物部【香佳姉】メンバーによる花々の手入れと平日に、倒れた植木鉢の管理を感謝。
- 神学校【齊藤校長】は、4/1(月)、第70回入学式です。新入生3名(女性)。
- F理事会【秋山和雄師】から、機関紙「VICE冬号」。国内宣教委員会【井口拓志師】から、機関紙「かいたく 第91号」です。受付でお取り下さい。国内外の福音宣教前進のために熱いお祈りを。
- 泉浩一宣教師(タイ)から「2023年.タイ宣教ビデオ」(youtube)です。[https:// ...](https://...)は掲示。